



# 大淀中だより

学校教育目標「自主・自律の態度と共生の心を育成する」

京都市立大淀中学校

学校だより

令和7年(2025)12月23日

校長 塩見 登

## 新たな挑戦(秋季新人大会)

ほとんどの部活が7月の夏季大会を最後に3年生が引退しました。そして、2年生を中心とする新チームがスタートしました。厳しい暑さの夏の練習を経て9月～11月に新人戦が行われました。3年生に頼っていた2年生がリーダーシップをとってチームを鼓舞している姿が印象的でした。文化系の部活動や外部団体で活躍している人もたくさんいます。大淀中学生みなさんが、一冬を超えて心・技・体すべてにおいて更なる成長することを大いに期待しています。

【女子バスケットボール部】 2回戦:栗陵 81-21 3回戦:京産附属:56-45

4回戦:藤森:53-35 5回戦:山科 42-69 **ベスト8**

【男子バスケットボール部】 2回戦:洛北 61-54 3回戦:中京:58-50

4回戦:京都御池:60-78 **ベスト16**

【サッカー部】 勧修 1-3 西ノ京・朱雀合同 1-4 附属京都 1-6 (グループリーグ敗退)

【女子バレーボール部】 (予選リーグ) 向島東 20-25 24-26 (敗戦)

西院 10-25 21-25 (敗戦)

【男子ソフトテニス部】 (個人予選) N.S.(2-4)・M.T.(2-4) **ベスト8→市大会出場**

K.Y.(2-2)・M.Y.(2-5)敗者復活→**市大会出場**

K.E.(2-2)・A.T.(2-3) 敗者復活→**市大会出場**

T.K.(2-3)・T.H.(2-3) 敗者復活→**市大会出場**

(個人本戦) T.K.(2-3)・T.H.(2-3)ペア **ベスト16→府下大会進出**

(府新人大会) T.K.(2-3)・T.H.(2-3)ペア 2回戦敗退

(団体戦) 1回戦 vs 神川中 1-2 で敗退

【バドミントン部】 (個人予選) M.Y(2-2)・O.R(2-4)→**市大会出場**

K.S(1-4)→**市大会出場**

(団体戦) 予選2位通過 → **市大会出場**

【水泳部】 女子50m 自由形 I.N(1-2) 男子50m 自由形 I.Y(2-3)

【陸上部】 **ベスト更新メンバー** 男子100m T.I(1-1) 男子200m O.M(2-3) K.Y(1-2)

男子4×100mR O.M(2-3)Y.Y(1-3)K.Y(1-2)S.M(2-3) 男子1500mY.M(2-4)

女子100m K.M(2-3) 女子800m N.M(1-4) K.R(1-3)

【柔道】男子 Y.Y(1-3) 1回戦敗退



## 姉妹都市交歓作品・税についての作文

京都市教育委員会が主催する「京都市幼児・児童・生徒作品展」で、本校の生徒作品が姉妹都市交歓作品として選出されました。

(書写) 2年5組 F.Yさん \*イタリアのフィレンツェに展示されています。

また、全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁が主催する「税についての作文コンテスト」において、本校の生徒作品が優秀賞に選出され表彰式に参加しました。

(全国納税貯蓄組合連合会優秀賞) 3年4組 O.Hさん



## 大淀地生連 令和7年度標語作品

(クリスマスツリー美術部作)

大淀地域生徒指導連絡協議会主催の「地域啓発活動標語集」が行われ2作品が選出されました。大淀地生連の皆さま、投票の御協力ありがとうございました。これらの作品は、町内の掲示板にも掲載されています。

ポイ捨ては 自分の運を捨てること

(2年3組 T.Nさん)

ありがとう ごめんね 言葉のキャッチボールでつながる 地域の輪

(3年3組 H.Rさん)

## ★★合同スポーツフェスティバル★★

11月28日、島津アリーナで1組の合同スポーツフェスティバルが行われました。京都市の育成学級の生徒たちが集い、様々な種目で競技するものです。今年は午前中に100m走と玉入れ、午後には、バレーボールとスポッチャを行いました。事前に他校と合同練習した成果も十分に発揮できた大会でした。



## 研究報告会

12月5日(金)研究報告会が行われました。13:00開始30分前、京阪電車が人身事故の影響で動いていないという情報が入りました。それでも、タクシーや自家用車に乗り換えて多くの方々に参観していただきました。公開授業後の全体会では、ドリゼミの代表ゼミの人たちが、大勢の大人の前で発表してくれました。野球ゼミの人たちは変化球の投げ方の探究結果を身振り手振りを交えて発表しました。途中、動画が流れないというアクシデントがありましたが、その間、3年生のゼミ長二人はステージの上に立ち、予定になかったドリゼミの感想を、臨機応変に話してくれました。先生方が救われ



た瞬間でした。メイクゼミの人たちは、笑顔を交えながら発表し、肌色チェックができる参会者参加型の発表をしてくれました。参会の皆さんがメイクゼミの人の指示で、人さし指を動かしたり、手を挙げてくださったりと協力してくださいました。映画ゼミの人たちは、自分たちが作っているアニメーションの作品を見せてくれました。セリフも音もないけれど、ストーリーや感情が伝わってくるアニメーションです。ほんの数分に何百枚もの絵をかいています。参会者の方も見入っておられ、盛大な拍手をいただきました。3ゼミとも、本当に素晴らしい発表でした。参会者の中には「感動しました」と言ってくれる方もおられました。

大成功に終わったのは生徒のみなさんが教職員と一緒に頑張ってくれたおかげです。全校生徒のみなさん、ありがとう!

## ～淀から世界へ(校長の独り言)～

いざ、サラリーマン金太郎へ。1991年、日本が好景気に沸いたバブル景気が終わり、景気がどんどん悪化しバブル崩壊。長い就職氷河期に突入します。先輩達が就職活動で苦勞している中、自転車をこぎ、スキー三昧から東南アジアの魅力に取り憑かれる学生生活。しかし、そんな生活は永遠には続きません。自分にもやってきた就職活動。将来の自分探しに出た東京での4年間の学生生活もこれといった物が見つからず、漠然と“将来大阪に戻る企業がいいなあ～”“出来れば自分が好きなスポーツの世界で働きたい”といった軽い志望動機で望んだ就職活動。話を盛るのが上手な私は、大学での経験を山盛りにして複数の会社から内定通知をもらうことになります。しかも、第1希望のスポーツ業界、プロ野球事業部まである大阪本社のある会社。同期の友人よりもスムーズに就職活動を突破した私は、どこか自分を過信していたのは間違いありません。また、東京採用にもかかわらず大阪本社勤務に配属され生涯この会社で骨を埋めることしか考えていませんでした。しかし、当時23歳の青年は、日本社会の厳しさをつゆ知らず。全くの世間知らずは、この後、3年間、民間企業の厳しさと超絶ブラックと超絶パワハラを経験するとは夢にも思っていませんでした。入社後2週間は、全国に配属される同期仲間とビジネスマナーを徹底的に教え込まれます。大学野球で活躍した2人と仲良くなり将来の夢を語り合います。1人は仙台支社配属。もう一人は私と同じ大阪本社。そして、彼は私が憧れたプロ野球事業部配属でプロ野球選手への営業。私は、岡山・鳥取の小売店を中心に営業。厳しい上司の下、徹底的に鍛えられます。小売店の社長は、商品知識もない新入社員にも容赦しません。厳しい営業マンとしての日々が続きます。疲れ果てた1年後に仙台から親友が大阪に転勤で戻ってきます。彼の姿は変わり果てていました。心労から髪の毛・眉毛・体の毛がすべてなくなっていました。明るく振る舞う彼とプロ野球事業部の親友2人と毎晩仕事終わりに、これからの人生と夢を語り合いました。50歳を超えた今、彼等は東京と岐阜で整骨院の医院長として活躍しています。そんな二人の活躍が自分の今の原動力となっているのは間違いありません。苦難をともにした仲間は、何物にも代えられない。あの時があるから今がある。たくさんの失敗があるから今がある。次回は、超絶パワハラ上司との鳥取米子一触即発事件をお届けします。

みなさま、2025年支えていただきありがとうございました。2026年もどうぞよろしくお願い致します。